

校長が考える学校経営の「一步先へ！」を実現する

～「学校経営 A P を実効性のある計画書に！」～

子どもたちの
笑顔・元気のために

学校訪問、約半数終了

6月10日（金）までに66校が終了しました。終了校においては、多くの説明資料、A P に沿った公開授業等、事前・当日の準備、対応ありがとうございました。どこの学校でも、校長先生の熱い思いを直に感じる事ができました。しかし、「主体的な学びって、どんな子どもの姿？」「深い学びってどうやってやるの？」と疑問を抱くこともありました。

実効性を高めるために イメージの明確化と共有を！

児童・生徒の姿

「主体的な学び」の
イメージ

- ・学ぶことに興味や関心をもつ
- ・解決への見通しをもつ
- ・課題に対して粘り強く取り組む
- ・学習活動を振り返って、次につなげる

「対話的な学び」の
イメージ

- ・教科書や資料等の考え方を手掛かりに考える
- ・話し合いを通じて、自分の考えを広げたり、深めたいする

「深い学び」の
イメージ

- ・各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる
- ・知識を関連付けて深く理解する
- ・問題を見いだす 解決策を考える
- ・新しい考え方を創り出す



お示ししているのは、「イメージ」の例です。実際は、各学校の児童・生徒の実態やこれまでの取組の経緯等を考えながら、みんなで共有していくことが大切です。この過程をじっくり取り組んでいただくようお願いします。実効性に疑問が湧いたら、変更も可です。変更にあたりご相談等があります。連絡ください。河野 まで